

質疑・要望



自治労・青木代議員

■エネルギー政策について

Q 連合本部の定期大会で古賀会長は、中長期的に原子力エネルギーに対する依存度を低減し、最終的には原子力エネルギーに依存しない社会をめざす必要があるとして、エネルギー政策の見直しを明言された。連合群馬としての見解を伺うとともに、連合群馬および構成組織がエネルギー政策見直しの議論に参画できる様な今後の取り組みをお願いしたい。

A これまでも連合本部の方針を踏まえた活動を推進し、地方連合会としての意見提起を皆さんと議論をしながら活動を進めてきた。エネルギー政策についても同様に、議論を進めて行くべきだと考えている。連合本部から各構成組織、地方連合会に真摯な意見を求めるといったスタンスが提起された際には、積極的な意見提起をお願いしたい。

■地協専従役員配置について

Q 専従者配置は、地協活動強化資金との兼ね合いで限られた地域に配置し、地域に根差した活動のために今後、人員増加を予定されているのか、それとも連合群馬役員が各地域を兼務するのか、将来の人員体制について伺いたい。それに伴い、中小労組の組合費が高いと言われてきている状況の中で、会費の値上げが発生するかどうか、合わせて伺いたい。

A 専従者配置の考え方としては、現時点では前橋・高崎・太田に配置をしたいと考えている。前橋は場所が県連合と同じ建物であることから、副事務局長が兼務する予定である。今後、12期後半期の中で、こういった形で役員を配置していくかといった部分を検討していきたい。
また、専従役員の配置による会費の値上げは本部での対応となり、地方での議論項目でないことをご理解いただきたい。



UIセンセン同盟・船津代議員

連帯あいさつ



左から柿沼・三宅・桑原衆議院議員、宮崎衆議院議員夫人

(柿沼議員) 総額12兆円補正予算は11月に決着を図り早期に震災復興し、被災者の安心を取り戻したい。
(三宅議員) 雇用労働委員会で年金問題や高齢者雇用など議論している。雇用情勢は悪化しており、一にも二にも雇用問題について解決したい。
(桑原議員) 予算審議も本格化してくる、一日でも早く被災地・被災者の方々に安心が届くよう、皆さんと力を合わせて活動していきたい。
※宮崎議員の代理でご夫人よりごあいさつを頂きました。



塚原 仁 議員懇幹事長

我々議員はそれぞれの自治体で活動状況は違いますが、働く仲間の代表として皆さんの意見を議会に反映していきたい。



県議会議員の皆さん



前橋・高崎・桐生・伊勢崎・太田市議会議員の皆さん



沼田・館林・渋川・安中市議会議員、大泉・千代田・玉村町議会議員の皆さん